

氏名： 高島 元洋 (TAKASHIMA Motohiro)
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系
職名： 教授
学位： 博士 (文学) (1993 東京大学)
専門分野： 日本倫理思想史・倫理学
E-mail： takashima.motohiro@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

倫理学／日本倫理思想史／道徳教育／感情／普遍性と特殊性

◆主要業績

総数 (4) 件

- ・「思想史」とは何かー「日本倫理思想史」に関する方法論的反省『日本史学年次別論文集 2005 (平成 17) 年』学術文献刊行会・朋文出版、2008 年 5 月、pp. 494-487
- ・「なぜ今、「基本的な生活習慣」の育成か」『道徳と特別活動』Vol.25 No.47 月号、文溪堂、2008 年 6 月、pp.4-7
- ・「日本儒教の特徴」『お茶の水女子大学大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」平成 20 年度 活動報告書 海外教育派遣事業編』2009 年 3 月、pp.187-204
- ・「神道における「食」」『お茶の水女子大学大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」平成 20 年度 活動報告書 学内教育事業編』2009 年 3 月、pp.310-315

◆研究内容 / Research Pursuits

日本思想を極東の特殊な思想として理解するのではなく、これを手掛かりとして人間の普遍的な倫理そのものを考察する。主とする専門領域は、江戸時代の思想・文化、特に儒教であるが、古代 (神道)・中世 (仏教) をも視野に入れながら日本思想全体を概観して研究する。また現代の倫理の問題 (人倫 = 人間関係) に関しても、特に超越的な存在 (神・仏・天など) や他界の観点を考慮しつつ、心 (理性) に対する身体 (感情) の問題として再考する。

A 個別研究 (モノグラフ) としては、1 儒教関係 (この研究の一部は「比較日本学研究センター」のプロジェクトである)、2 儒教以外の研究 (仏教・武士道・演劇など)、3 道徳教育関係があり、また B 方法論の分野の研究もある。

◆教育内容 / Educational Pursuits

学生に対する教育内容は、主として「講義」と「ゼミ」である。「講義」は教員が中心となる授業であり、「ゼミ」においては学生が中心となってレポートをする。教育の意図は、学生の主体的な問題意識を育成することであるが、「講義」の現状においてその趣旨はよく理解されており、「ゼミ」においても活潑な議論がなされていることから、期待どおりに機能していると判断している。

◆研究計画

日本思想は、インド・中国など外来思想の強い影響を受け、独自なものは少ないと思われるが、実際はきわめて洗練された多様な内容を含み、西洋思想にも匹敵する普遍性を持っている。今日海外との文化交流は、能・歌舞伎・茶道だけではなく文学・演劇・美術など高度に専門的な学問分野においても活発である。今後重要な研究の方向として、「比較日本学教育研究センター」の研究プロジェクトなどを通して海外の研究者との共同研究を進めながら、日本思想が特殊であるとする誤解を是正し、正確な思想・文化を発信する必要がある。

◆メッセージ

授業においては、テキスト（資料）を正確に読みとる訓練と相互の討論をとおして、資料の意味、著者が何を考えていたかを時間をかけて考えたいと思います。今日さまざまな政治問題・社会問題が日々のTV、新聞等マスメディアによって伝えられていますが、重要なことは結局、自分自身がどのようにこれらの情報を受けとめるかということです。膨大な情報の中から、正確なものを選択し、自身の行為に結び付けていく必要があります。テキスト（資料・情報）を正確に判断する責任は個々人にあります。そのように判断する訓練をします。